

(6) 2019年(平成31年) 4月11日(木曜日)

モアナルアガーデンをご存知ですか。

「この木何の木、気になる木」という歌と共に、日本のテレビコマーシャルで有名ななった大樹のあるハワイの公園です。

私は、その公園のすぐ近くに住んでいたのに、何度も散歩で訪れました。公園の管理者とその木の前で立ち話をし、樹齢が100年をはるかに超えていると教えてもらいました。

ある日私は、吸い込まれるように、その木をじっと見ました。堂々とした太い幹。大地に沈み込む頑丈な根。腕を大空に広げたような力強い枝。心地良い日陰を作ってく

れるみずみずしい葉。気づいたら1時間もその木を見つめていました。どうしてなのだろう。この木のそばにいと心がなご

枝が不自然に曲がっていることに気づきました。嵐で折れたのか、それとも、人が剪定したのかもしれない。木は自分の願い通りに枝を延ばせ

南加キリスト教教会連合

木には望みがある

平湯 晴彦

む。一人でどこにも動けない木なのに、鳥たちが集まり、人々が木陰で憩う。通り過ぎる風は涼しく、木漏れ日が優しい。

なかつたようですが、あきらめずに枝を前方に延ばし続けたのです。

私は、旧約聖書の次の言葉を思い出しました。

注意深く見ていくと、太い

「木には望みがある。たといい切られても、また芽を出し、その若枝は絶えることがない」

(ヨブ記14章7節)

ちょっと元気のない時は、

「木には望みがある」の「木」の部分に自分の名前を入れて読んでみて下さい。暗闇に光が差し込む感じがします。

私は、それで終わりになりませんでした。弟子たちは誰も復活を予想しなかったのに、復活された主イエスを見てあっけにとられました。しばらくしてから歓喜に包まれたのです。

だからイースターには理屈を超えた励ましがあるので。イエス・キリストには望みがある。絶望の先にも希望がある。どんな苦しみにも必ず出口があると信じています。

ハッピー・イースター。主イエスはよみがえられました。(オレンジコーストフリーメソジスト教会牧師)

今はイースターの季節ですね。主イエスが十字架で死なれた後、復活された日がいよいよです。普通は死によつてすべてが終わります。もう万事休すです。でも、主イエ